

調査対象：講演会参加者（119人）

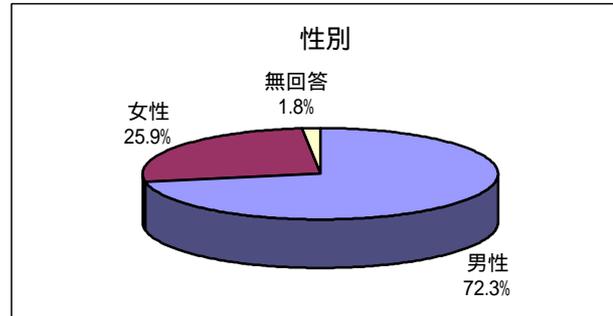
調査方法：講演終了後、会場にて回収

有効回答数：112件 回答率：94%

1. 参加者の属性について

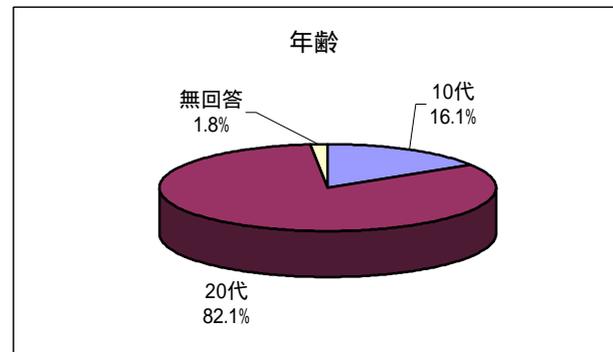
性別

	性別	人数	%
1	男性	81	72.3%
2	女性	29	25.9%
3	無回答	2	1.8%
計		112	100.0%



年齢

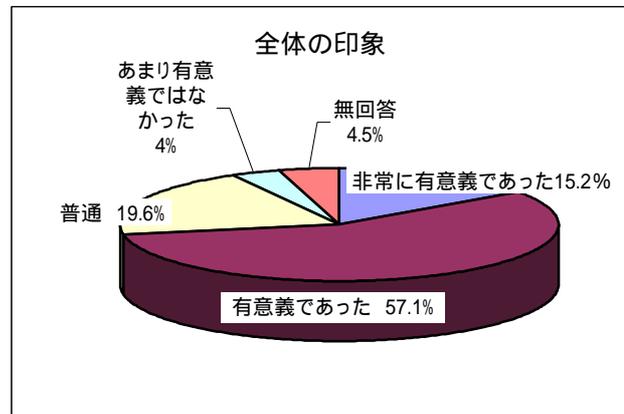
	回答	人数	%
1	10代	18	16.1%
2	20代	92	82.1%
5	無回答	2	1.8%
計		112	100.0%



3. 本フォーラムについて

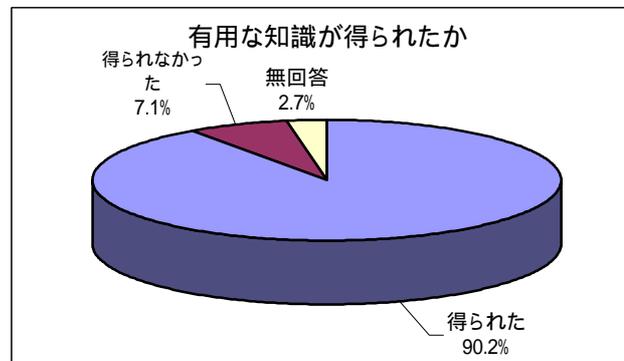
(1) 全体の印象について

	回答	人数	%
1	非常に有意義であった	17	15.2%
2	有意義であった	64	57.1%
3	普通	22	19.6%
4	あまり有意義ではなかった	4	4%
5	全く有意義ではなかった	0	0.0%
6	無回答	5	4.5%
計		112	100.0%



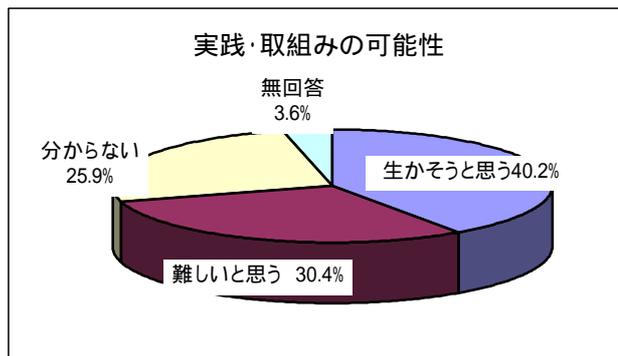
(2) 本フォーラムで有用な知識が得られましたか？

	回答	人数	%
1	得られた	101	90.2%
2	得られなかった	8	7.1%
3	無回答	3	2.7%
計		112	100.0%



(3)(2)で有用な知識が得られたとお答えの方へ、
本講演で得られた知識を今後の仕事や地域での活動などに生かそうと思いませんか？

	回答	人数	%
1	生かそうと思う	45	40.2%
2	難しいと思う	34	30.4%
3	分からない	29	25.9%
4	無回答	4	3.6%
	計	112	100.0%



4. 犯罪被害者等について

(1) 犯罪被害者の現状についてどう思いますか？

回答

- ・被害者の気持ちは被害者にしかわからない。当然といえば当然なのだが、だからと言って権利なんちゃらを必要以上に求めるようなことはிரないと思う。自分が被害者じゃないから言えることだが、もし自分が被害者になったら同じなのかもしれないが…。
- ・現在の犯罪被害者の現状では、多くの人たちが悲しみを抱えて生きていると思う。それは相談できるような人がまわりにあまりにも少ないからだと思う。被害者相談的なTELもっとメジャーにしていけないと思う。
- ・犯罪被害者は、精神的安心を得られず、心理的障害を負っているのは、被害者が求めている支援が不足していたり、一般の人々の理解が原因であったりするのを知り、被害者を支援する体制などが必要だと思いました。
- ・とても犯罪被害者にとって、長い間傷跡が残ることがわかりました。
- ・被害者は福祉的に保護されていない。弱い現状にあると思う。
- ・お金(賠償金・保険・給付金)もらっても埋められないもの(失った家族・失った身体の機能・ささやかながらの1番幸せな普通の生活)が大きいと思いました。日常から非日常になってしまう瞬間がいつなのか分からないし、まさか自分が被害者になるとは誰も覚悟していないので残酷です。
- ・刑事手続きについての不満はたくさんあると思います。
- ・彼ら彼女らの立場にならなければ、気持ちをくみとることは出来ないと思い、単なる同情で終わってしまう。
- ・犯罪被害者は、自分で被害者であると主張することを我慢することが一般的ということがわかりました。被害にあったことがない人が思っているより、大きな傷が犯罪被害者にはあるということがわかりました。
- ・本来加害者の更生なんかより被害者の保護が最優先されるべきなのに現状では十分ではない。とにかく被害者の保護を最優先して欲しいと思った。
- ・犯罪被害者の会という被害者を支援する団体もあるようなのでそれをもっとメジャーにして入りやすいようにすれば、被害者も少しは救われると思う。
- ・平和と言われる日本でここまで事後ケアが徹底されていれば被害者は十分な恩恵を受けていると思います。
- ・報道の人達が被害者の自宅などに押しかけて、気持ちがどうだとか、色々なことを聞いている場面がテレビで放送されていますが、被害者には辛くて悲しいはずだから、もっと落ち着ける場を与えてあげなければいけないと思う。本村さんのように意見の主張をできる人であれば、十分に公共電波を使うのは問題ないと思うが、精神的に辛いと思う。
- ・やはりもう少し犯罪被害者への配慮が必要ではないかと思う。逆にいえば、国でもっとケアしていけば被害者がおかしくなることは少ないかもしれない。犯罪者のことはすみからすみまでやるくせに被害者はほったらかしな気がする。
- ・しっかりと被害者の話を聞くようにしてあげれば良いと思います。(話し相手になってあげれば良いと思う)。本村洋さんが被害者なのにあんなに頑張れるのはすごいと思います。
- ・事故があってから3年後に自殺した人がいると聞いて驚きました。被害者への対応はとても難しく、誰かが支えてあげなければならぬと思った。
- ・本村さんのように、戦っている人は、ごく一部で、ほとんどの被害者は声をあげられない人であったり、事件のショックからPTSDに陥ったりしている。現状は被害者の生活、心のケアの必要性が叫ばれているにもかかわらず、それが不足していると思います。
- ・犯罪被害者が様々な理由によって孤独になるのはよくないと思う。
- ・いつ誰が犯罪にまきこまれても仕方ないという現状は治安が良いとは決していえない。
- ・もっと支援等が十分であると思っていたので、びっくりした。
- ・本当はもっと被害にあった人が普通に公表できたりするような社会にしなければならないのに、現在の社会ではそれができない、もしくはにくい、被害者がすくすく社会になっているというのが本公演を聞き思った。
- ・加害者に対して様々な思いをもっていても被害のせいで精神的に立ち向かうことのできない被害者が多いということを知り、周囲からのサポートが必要であるのだと思いました。
- ・最近になり、被害者に対する各種の支援についての重要性が理解され、様々な方策が行われたり、行われようとしているなど、良い方向へと進んでいるが、まだまだ不十分なものであるように感じた。

回答

- ・犯罪被害者、またはその遺族になってみないとわからないので他者が口を出しても意味があるのか分からないが、被害者の精神状態は計り知れない辛さがあると思うので、現在多くの支援が普及しているが、さらなるケアを進めていってほしい。
- ・被害者の心情としては、お話の中でもあったように、実際に被害者になってみなければ分からない部分がほとんどだと思いますが、ケアや支援については不十分なものがまだまだたくさんあると思います。
- ・閉鎖的だからおきているように思った。
- ・過剰にならずにいてほしい。また、被害者であることを忘れないほうが良いのでは？ 屈せずにあきらめずについてほしい。もっと法律を知るべき。
- ・犯罪被害者支援の活動として民間団体や地域社会の関係の連携が重要であることはできましたが、密接な関係作りには多くの時間を要すると思います。被害者にならなければ感じる感情を一個人が共有出来るのでしょうか。
- ・警察の被害者に対する対応、メディアの対応、周りの人々の対応がまだまだ不十分だと思う。
- ・被害者にしかわからない苦しみや不安があるので、周りの人がもっと支えるべきであると思う。
- ・被害者の方々の後にも残る内外を問わない傷に対応する機関、ボランティア団体があったとしても、今はまだその存在が広く認識されていないと共に、周囲からの協力をあまり得られていないことが問なのではないかと思いました。また、それだけではなく「自分は今苦しんでいる」と被害者が自ら申し出ることのできるような環境づくりが必要なのではないか。
- ・被害者は遺族を無くしたことで、一生心の傷を負っているのが現状だと思う。被害者支援については、まだまだ整備すべきことがあるのではないかと思う。
- ・被害者の精神的負担を軽減させることのできる支援などが足りないと思いました。
- ・自分が被害者であることすら主張せず、だれにも言えないひきこもっている感じ。
- ・例に出していた本村さんのように犯罪によって傷つけられた心の痛みはいつまでも取り除くことのできないものだと思います。
- ・今回の講演会を聞いて、自分が思っている以上に犯罪が多く、また、その質の悪さというのが明らかになった。被害者がかわいそうである。
- ・なかなか他人に打ち明けづらかったり、心に深い傷を負ってしまう場合も多い。
- ・世間体を気にする日本ならではのことはないかと思う。犯罪被害者は、自分の意志に関係なく、傷を負わされているのだからショックははかりしれない。また、匿名性が著しく守られていないと思う。被害者の顔や生い立ちは、事件翌日には、メディアによって報道され、1日に何度も事件現場がテレビに映しだされている。このようなことは被害者に苦痛を与える以外のなにものでもないと思う。
- ・酷であると思った。
- ・周囲の理解が得られていないという現状に驚きました。つらい出来事はいつまでもたっても忘れられるものでもないと思います。自分が被害者であるということを口にするだけでもつらくて、言えずにいる現状は変えるべきだと思います。
- ・被害者についてわかっていない部分が多くありました。もっと被害者に対する支えが必要であると感じました。
- ・ここまで何年も経過した後も、心に傷を持つ人がいるとは思いませんでした。もっとたくさんの方がこの現状について知ることが大切だと思います。
- ・犯罪被害者等への支援は、今日示された行政の対応が全て行われているのであれば十分であると考えます。
- ・自分が思っていた以上に犯罪被害者の心の傷が深いということが分かりました。岡村弁護士が被害者になって初めて被害者の気持ちがわかったという経験は、被害にあったことのない人々にとって学ぶべきことだと思います。
- ・多いと思うし、もう少し防げると思う。
- ・確かに被害者の方が大事にされていないような感じはします。もっと周り(マスコミも含め)は気を使うべき
- ・被害者の方々の心の状態というのが自分が思っている以上に深刻なのだということが分かりました。今回の講演でも、被害者の方の気持ちはちゃんと分かることは難しいのかも知れないが理解できるように活動していきたい。
- ・経済的なケアも精神的なケアも不十分と感じた。
- ・支援はまだ不十分なのではないかと思います。
- ・厳しい現状にあると思う。

回答

・やはり精神的なところの支援というのが、本当に大切であると思ったし、そのような点というのは気付きにくいことなのかもしれないと感じました。また、経済的にも負担があったりするのは非常に大変そうであると思いました。

・被害者の人には全く非がないのに因果応報という考え方はおかしいと思った。被害者の人たちを保護する制度も全然足りないと思う。

・日本の被害者支援はまだまだしっかりと整備されていない。

・大きな声で、その被害について訴えることができない現状はなんとか変えていかなければならないと思う。

・被害者が我慢することが一般的なのは、彼らが事件のことを思い出したくないから、という理由が挙げられると思う話の中でもあったが、障害者の心のケアが重要ではないかと感じられる。

・以前よりは改善されたとは思いましたが、犯罪被害者のケアはまだ不十分であると思う。

・被害者の人はいつまでも苦痛を背負わないといけないなんてつらいなと思った。

・この講演会を聞くまではあまり考えていなかったが、多くの時間をかけても心の傷は深く、とても苦しんでいることがわかった。

・マスコミに必要以上に取材されたり、数ヶ月後には忘れられるなど、今も厳しい環境にあるのではないかとと思う。

・犯罪の被害を受けたことのない人には、受けたことのある人の気持ちをなかなか理解してあげられないことを知りました。そのため、被害者に対する被害者支援が重要だと思いました。

・被害者や被害者遺族は、相談する勇気がわきにくいように感じます。

・「被害者になってみなと被害者の気持ちはわからない」その通りです。自分の気持ちなんて、他人はわからないつもりだと思います。時間がたってしまうと、忘れられてしまうのは悲しいことです。

・事件の後の被害者、被害者家族へのメンタルケアが足りていないと思う。

・事件や犯罪の被害者となった人に対して、もう少し支援などをしてもいいと思うし、精神面や金銭面でも少しサポートしてほしい。あと、なるべく裁判などは早く解決するようにしてほしい。そうすれば被害者のためになるから。

・被害者は何にも悪くはないのに、ある日突然不幸になってしまっていて、本当に不憫だと思った。

・今、犯罪被害者等の現状について、犯罪被害者の心のケアと支えがもっと必要である。

・犯罪被害者のことを全く知らなかった私は、被害者がどんな生活をし、苦しめられているかを知ってとても自分が無知で恥ずかしくなった。

・加害者の判決に注目が集まり、被害者のケアや援助などに力を入れる必要があると思った。

・風当たりは冷たいと思います。自分が被害者だと周囲に知られると腫れ物に触る扱いをされたり、陰で何かを言われる人が多いと思います。支援体制は整ってきているような気がしますが、声を出すことをしやすくなるのはあるのかどうかという気がします。

・犯罪被害者はなってみないとわからないと言いますが、まさにそうだと思います。テレビで犯罪被害者の方が何か言っているのを見て、「ちょっと言いすぎでは？」と思うこともたまにあります。知り合いでもなく、遠方に住んでいる自分でもそんな感じに思ってしまうのだから、当事者は近くの人からどのような目で見られているか、自分にはわかりません。犯罪被害者が当然にその思いの丈を述べれば、世の中にたたかれるようではあまりにもかわいそうに思います。

・たしかに被害者が加害者よりも知られることは少ないと思う。私たちが被害者のことをよく知らないため、勝手に決め付けてしまったり、無関心であることはまずいと思う。無関心であるから被害者の失った権利もないがしるにしてしまうことはおかしい話である。私たちは、もっと被害者の気持ちや目線を考えて社会的に保護していかなくてはいけないと思う。

・いつ誰が被害者になるかわからない世の中になっていて、自分や周りにいる大切な人たちが被害者になったらと思うと他人事でなく、怖いと思いました。

・障害者の体験談は比較的、聞く機会が多いので正確な理解ができるようになってきたが犯罪被害者はその性質上話をほとんど聞けないので対応にしても思い込みでしかできない場合がほとんどなので結果的に第三者の立場から被害者を苦しめているのが現状だと思う。

・ひとりで悩んでいる被害者がたくさんいて、専門的な法律がわからない者や心の病にかかっている者等の話を聞く場があるということを伝えるべきである。

・以前ほどではないにしろ、マスコミは未だに被害者や被害者家族をやたらに取り上げていて被害者の社会復帰を妨げている気がする。また最近、加害者の親にも取材を行ったりしているが、彼らも被害者だと思う。

回答

- ・自分の周りが安全だと思ってしまっていることでどうしても犯罪に対して人ごとのように感じていたので改めて、防犯について考えさせられました。
- ・被害をうけたあとも、その被害をひきずっている、二次被害が存在しているということについて、話を聞いてあげる人、被害者相談室等の機関が存在するというを、もっと広く知られるべきだと思いました。
- ・制度的なものなどにおいて、改善すべき点があるように思う。
- ・国からの保障がたりないと思う。
- ・例えば本村さんのように犯罪被害者の全員が積極的に戦えるわけではなく、またそれも仕方のないことだと思います。被害者への支援はさらに充実させられればよいと思います。
- ・加害者への配慮に比べて、被害者へのそれはまだ未熟だと思いました。
- ・深くはわからない。けれど、その人たちの心の状態についてなら、少しなら分かる。人はあのような状態に長くいるべきではない。手助けを身近に受けられる機関があるだけでも、相当の助けになっていると思う。
- ・被害者等が抱えている問題や不安は、その人それぞれで多様なもので、被害者ではない人たちにとって、そうした気持ちを完全に理解するのは、難しいということがわかりました。
- ・親や子供、親族、友人を失うということは非常に辛く、苦しいことだろう。ましてや、失うことだけでなく、その事件の現場に居合わせたならばその記憶は鮮明に残り、ちょっとしたきっかけで思い出してしまうだろう。つまり、被害者は時間が経てば楽になることもあるかもしれないが、一生苦しみ続けることになるだろう。今回の講演で被害者支援が非常に充実しつつあることがわかった。だが、私もそうであったが、事件の被害者に対する周囲の人の理解がまだ不十分なところがあるだろう。
- ・被害者支援を充実していこうという昨今の流れは、非常に良い事だと思います。
- ・私は犯罪被害者がどのような支援を受けているのかや警察がどのような支援をしているのか知りませんでした。しかし、今日の講義を聞いてどのような事がなされているのかがわかりました。
- ・犯罪被害者は精神的な傷を深く負ってしまうため、このアフターケアをどうするかが被害者支援の最も重要な課題なのではないだろうか。
- ・法律ができたわりにはまだ支援は足りないと思います。
- ・被害者の心情にも様々なものがある。助けて欲しい人もいるだろうし、放っておいて欲しい人もいる。だから、現状が良いのか悪いのか一概に言うことはできない。
- ・それなりの配慮があると思う。警察という国家機関に加え、民間の相談室があるのはよいことだと思った。
- ・普通にいつもどおり暮らしている人が犯罪被害者となりうる。被害者となった場合、周りから「被害者」というくりをされ、二次的被害を受けるのは異常なことだと思います。
- ・話を聞いて、以前に比べ改善されたことはわかりましたが、未だ不十分であるのではないかと思います。
- ・犯罪被害者が苦しむ一要因としては、事件後の周囲の目というのもあると思います。そこで大切なのは今日お話されたような地域の助けだと強く感じました。
- ・むごい事件、事故によってしかメディアにとりざたされないように思える。
- ・改善すべき
- ・被害者の支援の完全化は不可能なことであるが、少しずつでもいいので被害者に対しての支援をより強めてほしいと思った。
- ・十分な支援を受けていない人がたくさんいるので、良い状態ではないと思う。
- ・分かりきれない。

(2) (1)に対して、どのようにすればよいと思いますか？

回答

- ・被害者の声をよく聞くべきである。そして、その要望に応えるべきだが、警察側でいらないと感じたものは応える必要はない。被害者だからといって100%支援する必要はない。自分でナントカする必要もある。
- ・TELや相談室をもっと身近なものにする。まだまだ距離感がありすぎると思う。
- ・警察と地域、被害者のそれぞれの連携が必要だと思う。例としては、公立小・中学校にいるスクールカウンセラーに相談できるようにする。ボランティアなどによる定期訪問をして、被害者の意見をしっかりと聞き。
- ・やはり事前抑制の為、今行われているキャンペーンや心のケアを行い、少しでも軽くすることだと思います。
- ・市が条例を出して、保護することによって国としても、多くの動きが出てくるので市の規模から動いていけばいいと思う。釧路市は遅れている。
- ・犯罪被害者等基本法、北海道犯罪被害者等支援基本計画等対応がいろいろあることを知りました。思わずとも犯罪被害者となってしまった人への手厚い保護・支援の徹底をお願いします。
- ・刑事手続きへの関与の拡大してほしい。
- ・同じ環境に陥るか被害者たちの直接の会話を行うことが大切だと思う。
- ・主張しない理由の1つに、ヤクザとかに仕返されると思っている人がいたり、周りからみられる目を気にしているということがあると思います。対策としては、具体的にはわかりませんが、主張出来る環境を整備する必要があると思いました。
- ・加害者のプライバシーは守られがちだが、被害者のプライバシーは軽視されがちのため、メディア・警察を含め、すべての人が被害者への配慮をする。また、行政も被害者支援にもっと取り組む。
- ・支援団体と警察・または市町村などとの関係を密接なものにして被害者が入りやすいような団体にすればいいと思う。
- ・報道現場も、自分が被害者の立場になった時を考え、自ら主張をしたいと言う人以外は報道を避けてあげるべきだと思う。
- ・やはり精神的な問題が多いようなので心理カウンセラー的な対応と訪問。
- ・スクリーンに出る文字が小さいので、もっと大きくしたらいいと思います。
- ・一人一人が被害者の気持ちになって考えてあげることが必要。
- ・臨床心理士や、心理カウンセラーなど、被害者の精神状態を把握できる人、さらにそれをケアできる人をもっと増やして、少しでも犯罪被害者が精神的なケアを受けることができる機会を増やすことが必要なのではないかと思います。
- ・警察のケアがどのようなものかわからないが、もし不十分になるならば、別に被害者を最後までケアできる組織をつくるべきだと思う。
- ・もっと社会の流れで大きく、被害者のすこししやすいようにしていった方が良いと思う。でも、少なくとも少しはそのような流れがあった中で今こうなってると思うので正直どうすれば解決できるかは予想がつかない。
- ・知らない人も多いと思うので、やった方がよいと思う。
- ・警察・地域社会での支援のみならず、マスメディアも被害者にやさしくなっていくべきだと思う。
- ・まず被害者の立場になったことのない人は、被害者の現状をほとんど知らないで、今回のような講演を多く行っていくことが第1歩だと思う。講演を開いて、自分も何らかの役に立てればと思う人は少なからずいると思う。
- ・国や市町村、さらには警察といったものそれぞれが密に関わり合いさらには市民団体等とも関連しあって種々の方策について考えていかなければいけないように思った。
- ・被害者から自らの体験談を話すのは酷であると思うので、警察の方々等の講演により、犯罪の重み、そしてその悲しさや辛さを伝えてもらい、被害者の気持ちを少しでも知ることによって、被害者に対する見方も変わってくると思うし大切であると思う。
- ・犯罪からの心の傷を一人で背負って、またそれを他の人に対して言にくいというのは聞いていて、とても切なくなりました。
- ・被害者に充実した支援ができるように、社会全体で支え、様々な面で改善していくべきだと思った。
- ・相談室の存在を知ってもらうことからだと思う。
- ・具体的には被害者(遺族含む)が被害を受ける前の生活をすぐにおくれるような経済的支援カウンセリングの充実や間接的な被害への支援などが必要であると思います。
- ・何度かした方がよい。
- ・被害者の気持ちをもう少し理解し、被害者が生活を取り戻せるようにサポートしていくべきだと思う。

回答

- ・人の意思を変えるのは難しいと思いますが、地道な呼びかけにより、一人一人の意識改革をしていくことが大事だと思う。
- ・周囲の認知を高める機会、例えば今回のような講演を様々な場所で開いてほしいと思います。聞く側も聞いただけで終わらせることなく、得た情報や知識を活用、もしくは他の人々に伝える、などの努力が求められているのではないのでしょうか。
- ・整備することとして、被害者に対する給付額を増やすべきだと思う。あと、加害者の刑を被害者の要望に出来るだけこたえられるような制度をつくっていくべきだと思う。
- ・まず被害者に対するカウンセリングを多く行い、なるべく1人にさせないようにするにはいけないと思います。
- ・まず人と基本的なコミュニケーションをとらせ、なるべく1人にさせないようにすることがいいと思います。
- ・パトロール強化
- ・被害者を支える周りへのサポートが必要。これには地域社会のレベルで被害者のケアの重要性というのを浸透させ、協力しあうことが第一。そして犯罪がなくなる動きが大事。
- ・実務的な法律の制定が必要だと思う。日本には、名ばかりで抜け道だらけのザル法が多いので、具体的なものがほしい。マスメディアの規制も必要だと思う。今日のマスコミは事件を1つのネタとしてしか見ていなく、被害者のことなんて、考えていないように見える。そのような報道によって、被害者の立場が弱い社会になってしまうのは、おかしいと思う。
- ・被害者相談機関の強化など。
- ・まずはその人々のことを考え、理解することであると思います。「もし、自分が同じ目にあったら、何をしてほしいのだろうか」と考えるべきです。何年経っても忘れられるものでもないし、いつまで経ってもつらいものはつらいはず。被害者は、周囲の人々、社会もそのことを心に留め、「もう大丈夫でしょう？」という意識をなくすべきではないでしょうか。
- ・このよう講演会を各地で開いたり、募金をつのれば知ってもらえるのではないのでしょうか。(募金となると、する、しないは別としてどこへ募金されるのかは興味がひかれると思います。)
- ・行政側の対応は十分であるから、あとは、地域社会、国民ひとりひとりの意識の問題だと思う。
- ・社会的には法的な支援を十分なものにすべきだと思います。また、このような被害者が減るように、犯罪の抑制につとめるべきだと思います。個人的には自分ができかぎりのサポートや被害者の立場になったつもりで行動すること を心がけるべきだと思います。
- ・複数名で相談すれば解決できるものもあると思う。
- ・地域社会の協力というのは絶対に必要だと思いました。周りから安心できる環境をつくれればいいと思います。
- ・市町村レベルの対応をするにしても予算を十分に確保しないと実現できないと感じた。
- ・各自治体で何らかの支援をしているのなら、「支援をしている」ということをもっと広く市民に知らせればよいと思う。
- ・社会全体が被害者支援を意識していくためにメディアを通じて社会に被害者支援の現状について社会につたえる。
- ・今回の講演でもあったように、地域などが被害者側のケアをしっかり行ってゆくことが大切だと思います。
- ・もっと国民がこういう被害者たちに興味を持って知ろうとしなければ変わらないと思う。国民全員が被害者になりうる可能性を持っているので、他人事とは思わずに、自分のこととしてとらえる様になれれば法律も変わると思う。
- ・国の援助金がたらない。そのために、被害者の状況を説明する機会を増やすべき。
- ・被害者またはその家族に対する、徹底的な支援が必要だと思う。そのためのマニュアルや、要項をわかりやすい形で提示すればよいと思う。省庁や役所などの書類はわかりにくく書いてあるため、もっと分かりやすい形で提示することを望む。
- ・やはり地域間での支援や地域の理解、警察の支援も今以上に進めることが大切だと思う。
- ・カウンセリングをしたり、周りの人のサポートが必要だと思う。
- ・そのあとの心のケアが大切だと思います。80%くらいの人がそばで話を聞いてほしいとのことだったので、まわりの親しい人たちの支援が必要だと思う。
- ・身近な人であれば、その人がしてほしいということをしてあげられればよいのではないかと思う。
- ・被害者が事件前の生活を取り戻せるような支援が必要であると思いました。そのために、市町村が連携して取り組むことが重要だと思います。

回答

- ・支援ダイヤルを無料で提供したり、長期間に渡って親身になって相談にのったりするといいいと思います。
- ・大切な人を失った人の気持ちを、理解するのは難しいことだ。
- ・警察と地方自治体が協同してメンタルケアをしていけばいいと思う。
- ・国や警察が一体となって被害者を支援してほしい。
- ・TVのニュースなどをみていると、山口県の母子殺害であったり、地下鉄サリン事件であったり、放射線や戦前・戦後あたりの病気などの被害を受けた人達がおこした裁判などで、9年など何年にもわたって裁判がおこなわれていて、何十年もたってから判決が決まる時がありますが、被害者などのためになるべく早く解決してほしい。被害者の苦しみを少しでも早く解決してほしい。
- ・講演の中にもあったように、市町村単位で取り組むべきだと思った。
- ・被害者の支援の条例設置の推進や進んで行っている地域の例を他の地域に紹介し行政・警察・民間の連携を強化する。外国ではどうしているのか研究して応用するのも良いと思います。
- ・一人で抱えこまないで、被害者支援についてもっと知り、またそれを社会に広めていくべきだと思います。我々一般の人が犯罪被害者の気持ちを理解することにしかないと思います。しかしそちらに傾きすぎると危険な思想であるように思います。やはり、犯罪被害者本人の方が直にお話をして実情を訴えるなど、講演の機会があれば、私たちも今よりももっと犯罪被害者の現状について考えるきっかけになるのではないかと思います。
- ・被害者の会みたいなものはがんばっていると思うが、行政側の行動が足りていないと思うため、そこを改善すればよい。又、私たちが被害者に対して「すぐに立ち直れる」という勝手な考えを持たないでもっと被害者の気持ちを考えなくはいけないうら。そういった面では、マスコミのかたよった報道のやり方も考えなおさなくてはいいなく、被害者の声をもっとひろうべきではないだろうか。
- ・多くの人に、この現状を知ってもらって、自分の身近なものとして受け止めてくれる人が増えたら、少し変わるのではと思いました。
- ・警察の方の話や統計を見る聞く機会を増やしていった方がいいと思う。
- ・相談できる場があることを伝えるべき。
- ・マスコミの自主的な規制だけでなく具体的な法整備が必要だと思う。
- ・多くの人にきちんと知ってもらう事が大事だと思う。
- ・あだ討ちではないだろうが、被害者への配慮をより発展させるべきだと思います。又、こういう話をより多く聞かせて、多くの人々に被害者、加害者共に長くつらい生活をすることを伝えるべき。
- ・やはり、赤の他人として考えがちだが、支援する人が自分のことと考え、心理的理解は難しいかもしれないが、まずは資金集めの方からはじめられればよいと私は思います。
- ・申請主義なのは仕方がないことだが、今後もこのような人々にうたえかける活動をしていったほしいと思う。
- ・被害者に対する支援は、重要である。被害者の安全確保や経済的支援だけでなく、カウンセリングや相談を受けるなどの心的支援も大切である。また一番重要なのは、被害者の周囲の人や、事件に関係していない人が、被害者のことを理解するということだろう。
- ・被害者に直接関係ない人でも、被害者を支援する団体に何らかの形で参加できるようにしくみが必要だと思います。
- ・精神的な傷が深い被害者に対してはカウンセリングを積極的に行っていくことが重要なのではないだろうか。
- ・行政側がもっと積極的に支援したり、国民一人ひとりが意識をかえたり、知識をもつ必要があると思います。
- ・被害者の心情理解が第一だと思う。放っておいてほしい人に支援しようとしても、それは逆効果だしストレスになる。助けてほしい人に対して何もしなければそれは問題である。
- ・やはり国が動いて、被害者となった方へ支援する制度が必要となると思っています。被害者が被害者であることを忘れるような暮らしを提供しなければならぬと思えます。
- ・被害者に対して精神面や日常生活の面での支援体制を更に整備し、そうした整備のためには国が予算を特に確保し、これにあたるべきであると思えます。
- ・事件、事故が起きたニュースばかりでなく被害者の安否やその後のケアを考えるべき
- ・専門の公的機関を設けるべき。
- ・被害者の孤立を防ぐために周囲に対して、よりよい地域をつくるべきではあるが、実現は難しいために、地域社会とのつながりを強めるべき。
- ・地域や周りの人々の支援活動を積極的に行っていくべき。
- ・犯罪被害者等の支援会をなるべく増やす。

(3) 今後も同様な講演会を開催した方がよいと思いますか？

回答

- ・した方がよい。(32名)
- ・大変そうだと思うのだが・・・。
- ・年に1回は必要だと思う。
- ・被害者の事をもっと良く知る上で講演会をできれば開催してほしいです。
- ・相談窓口があるということを知らない人が多いと思うので続けていてもらいたい。
- ・開催していただきたいと思います。やはり、現場のプロ(専門家)の方のお話は、ためになります。
- ・犯罪被害者になる可能性は誰にでもあるため、開催した方がよいと思う。
- ・自分が知らなかった現状を知ることができたのでやった方がよいと思う。
- ・近年は陰湿な事件も多いし、逆に堂々と殺人を犯す人間も多いので積極的に講演会を開催していった方がよいと思う。
- ・よいと思います。今後は、大学だけでなく、他の人に聞いてもらったほうがよいと思います。
- ・もっと多くの人に聞いてもらう必要があると思います。聞いている人の中に、被害者遺族として、悩んでいる人がいるかもしれないので、そのような人々を少しでも多く救うためにも、機会は多いに越したことはないと思います。
- ・知っていたつもりのもので実は知らなかった部分もあり、知識をより深めることができたので今後も開催した方がよいと思う。
- ・開催した方がよいと思う。そうする事で少しでも被害者に対する考え方などが変わり、社会の流れもよくなると思う。
- ・意義はあると思います。
- ・いつもの講義では得られない知識が得られるので開催を期待する。
- ・今まではなんとなくしか考えていなかったような事柄であったが、被害者についての様々な話を聞き、改めて深く考え、学ぶような機会となり、有意義なものであったため、今後も開催してほしいと思う。
- ・ぜひ続けていてもらいたい。
- ・知る機会が他に思いつかないのでした方がよいと思います。
- ・思います。様々な方面の方々からお話を伺えるのは非常に有意義である。と思います。
- ・まだまだ犯罪被害者の現状の深さを知らない人が多いと思うので、このような講演会をもっと開いて、他の人にも知識をもってもらいたい。
- ・もちろん、機会があれば参加したいので開いてほしいと思います。
- ・よいと思う。まだ理解できていなかった部分もあったので今後もやってほしい。
- ・開催した方がよいと思います。普段、あまり考えることのないことを考えるきっかけとなると思います。
- ・開催した方がよいと思います。普段授業で習わないことを学べるのでいい機会だと思います。
- ・よいと思います。開くことで犯罪に対するとらえ方等が変わってくると思うからです。
- ・私は是非聞きたいです。あまりこのような機会に接することが多くないので。
- ・どちらでもよい。社会に対する犯罪の現状の認知は必要かもしれないがそれよりも被害者支援のスペシャリストとして、全力で頑張してほしいです。
- ・よいと思うが、朝よりは昼過ぎなどの時間がいいと思う。
- ・積極的に行うべきです。このような講演会を行うことによって被害者やその家族の現状を少しだけでも知ることができるので。
- ・はい。ぜひたくさんの人に知ってほしいと思います。
- ・被害者の現実を知る機会はなかなかないので、今後も開催した方がよいと思う。
- ・はい。特に大学生とかこれから社会に出る人に話することは、大事だと思います。
- ・いろんな場所で小学校や刑務所とかでもやった方がよいと思う。
- ・なかなか気づかないことであると思うので行ってゆく必要があると思います。
- ・興味を持ってもらったり、知ってもらうためにも継続して開催した方がよいと思う。
- ・私たちの通り、犯罪被害者を認知してもらうために必要だと思います。
- ・一般に警察というものによいイメージを抱いていないと思うが、このように犯罪被害者への対応をしているのだということは広く知られるべきであり、見方を変える1つのきっかけになると思うので開催した方がよいと思う。

回答

- ・普段このような講演会がない限り、話を聞けないので今回話を聞くことができてよかったです。
- ・した方が良くと思います。以前、被害にあった時の対応に不満があって、警察に対してあまり良いイメージはなかったが、少し見方が変わりました。
- ・開催した方が良く思う。もっといろいろな話を聞きたい。
- ・是非、開催した方が良くと思います。一般に広くこういった状況にあることを伝えることで変わるものや新たに生まれるものも出てくるのではないかと思います。
- ・わからない。
- ・自分や友達が被害者になる可能性があるのも、もし被害者になった時のために、この講演会は役立つと思うので、開催した方が良くと思います。
- ・した方が良く思う。また、被害者の協力があれば、被害者自身の声を聞きたいです。
- ・大学の授業時間を使っての講演は非常に良い。
- ・防犯意識を高めるためには必要だと思います。
- ・より多くの人に知ってもらうためにも、開催するのが良くと思います。
- ・年に一度くらいは。
- ・今後もあったほうが良くと思います。
- ・まだまだ被害者に対する理解が不十分なので、ぜひこれからも続けてほしいと思う。
- ・割りと有意義だと思ったので、その方が良くと思います。
- ・今日の講演会は非常に良かったので開催した方が良くと思います。また、被害者についての支援をする仕組みについてまだまだ知らない人が多いと思うのでそういった意味でもした方が良くと思います。
- ・こういった知識をもとめている人は数多くいると思うので開催した方が良く思う。
- ・上に書いたように意識をかえたり知識をもつ必要があるので開催したほうが良くと思います。
- ・日常生活で起こり得る事件等等といったことに対する対策等の講演などがあれば、是非。
- ・自分自身、犯罪被害者について深く考えたことがなかったので、こういった講演会はいききっかけになると思う。
- ・今日知ったことはほんの一部でしかないと思いますが、これが糸口となって、もっと視野が広がると思います。日本には、まだ被害者になりうること、そして加害者になりうるものが日常をいつもどおり暮らしている人がなること。その人たちに、被害者となってしまった人の現状を知らせることが必要だと思います。
- ・実例や分かりやすい話のためによかったので今後も可能ならば開催してほしいです。
- ・開かなくても良く思う。出張で行くなら警察官になりたい学生がいる所にいったほうが良いのでは？

5. その他のご意見、ご感想について、下覧にご自由にお書きください

回答

- ・今日の話聞いて思ったのは、自分が犯罪被害者になったとしたらすごい精神的障害になって学校にも行かなくなっていると思う。ボランティアに積極的に参加したいなと思った。
- ・スライドの文字を少し大きくした方がとよいと思う。(黄色などの淡い色はひかえる)。被害者に対する支援はいろいろなものがあるということが分かりました。
- ・犯罪被害者の事が非常によくわかりました。捜査を実際行われている方に話を聞く事で被害者のことが切実に伝わってきました。是非、こういった機会を設けていただけると幸いです。
- ・北海道についての犯罪の状態というのが知ることができてよかった。
- ・山口県光市母子殺人事件について、加害者側の弁護士・仕事とはいえ怒りを覚えます。(安田弁護士?) 弁護士の言葉で、被害者心理の傷口にさらに荒塩をすり込むような場面があったのは許せません。ありがとうございました。
- ・道警の人の話が聞けて貴重でした。
- ・初めて知る事が多く、結局は他人の心理を読むことは難しく、自分本意が多いのではないかと感じ、本当の苦しみや悲しみは知ることは難しいと思う。
- ・犯罪被害者について、あまり考える機会がなかったのでいい機会になりました。
- ・自分の知らなかった被害者についての知識を知ることができたのでとても役にたったと思う。
- ・警察に何人か知り合いがいるので、その人達も含め、これから今までのような悲惨な事件や事故がおきないように、最善の努力をしていってほしいと思います。
- ・もっとケースをわかりやすく、深く濃く話してほしい。でもJR福知山線の話は意外だったが、少し考えさせられた。
- ・僕は被害者のために厳罰化の方がいいと思っているのですが、道警の方がどう思いますか。また厳罰化によって犯罪率は減少すると思いますか。
- ・何か機会があれば被害者相談室に電話するかもしれないのでよろしくお願いします。
- ・とても有意義な講演でした。
- ・犯罪は、加害者と被害者の両方で成り立っているので、両方ともきちんとした対応をできる社会になってほしい。
- ・私個人ができることはありますか？
- ・精神的被害が大きく加害者と戦っていくことが困難な被害者が多いのだということを知ることができて良かったです。これから、ニューなどを見る見方が変わっていく気がします。その時、少しでも被害者を支えるための具体的な行動をしたいという気持ちももてると思います。今回の講演はそのよききっかけとなりました。
- ・現在成長の過程にあるような被害者支援の話はとても興味を持たされ、今後の進展がとても気になるものであった。
- ・今日の講演会で被害者支援において自分がすべき事を少し分かった気がした。
- ・非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ありがとうございました。
- ・今回の講演会をきいて、犯罪被害者の現状や支について色々知ることができ、今後役に立つと思った。自分たちも犯罪被害者のために何かできればいいなと思った。
- ・もっとこのような機会があればいいなと思います。もし1人の人が被害にあい、死亡してしまった場合、被害者は、その何倍もいることになります。すべての被害者を救うためにどのようなことをすべきか・・・すごく難しいことだと思いました。カウンセラー養成講座に興味を持ちました。
- ・普段できないことを勉強できたので良かったです。
- ・普段聞くことのできない話を聞くことができてとてもためになり、特に地域の支援活動は大切であると思います。
- ・この度は貴重なお話ありがとうございました。「被害者を守る」というのをまず地域社会からサポートをということ、心に置いておきます。
- ・被害者支援の窓口についてアピールした方がいいと思う。意外と知らないのでは？加害者が税金で刑務所に入るのは納得しがたい。釧路市は交通マナーが悪いので取り締まってほしい。
- ・今日の講演を聞いて、被害者よりも加害者の方は手厚く扱われている現状に思うところがあります。何か被害を受けても、そのケアを自分で行うにも限界もあると思うし、つらく苦しいものであると思います。社会、個人でもできることがあれば、積極的に手を差し延べるべきであると思います。

回答

- ・カウンセラーの方々のお仕事に興味がわきました。
- ・とてもためになりました。犯罪被害者についての考え方が変わりました。
- ・警察の仕事は幅広いと思った。犯罪被害者支援の存在を知れただけでも良かったと思った。
- ・今までにあまり聞いたことのない内容であったので、今回聞くことが出来て非常に良かったと思います。
- ・知っている事件のことが出てきて、少し身近に感じる事ができたので、被害者たちのことを知ることができたかなと思う。今日講演会を受けたことで、少しでも被害者の力になれば良いなと思った。
- ・犯罪の起こらない地域社会づくりは大切だと思う。しかし、近隣住民との関係が希薄になっている現代では、なかなか困難であると思う。
- ・今回の講演会を聞いて、ニュースなどで第三者的に考えがちな事件の被害者について、当事者の立場にたって考えなければならないということを再確認した。今回の講演会を聞いて、被害者といっても、殺人といった重犯罪だけでなく、精神的なダメージをうけたりする4カンなどの犯罪についても被害者の警察の支援についても詳しく知りたいと思った。事件が起こる前に、事件を未然に防ぐためにしている警察の活動についても聞いてみたいと思った。
- ・被害者の人は、主張もできず、辛い思いをしているんだなと思った。
- ・今回の講演を聞いて、犯罪被害者の気持ちについて理解を深めることができたと思います。
- ・自分は被害者ではないので、被害者の気持ちをおしはかるのは困難であるが、そういう人が世の中にいて、同じように暮らしているということをおぼろげに忘れないでいることが大切なのかなと思った。普段はなかなか知ることのできない話を聞いて有意義な講演だったと思います。ありがとうございました。
- ・警察はムダな金を使わないように頑張ってください。
- ・犯罪の被害を受けたことのある人の苦しみを知ろうとすることによって、被害者を支えていくことができると思いました。
- ・スライドの文字が小さくて、後ろの方の席からは見えにくい。もう少し大きくしてもらえると嬉しいです。被害者や被害者遺族に対して、様々な支援があることを知ることができて良かったと思います。
- ・被害者相談窓口がこんなことをしたりしているなど、いろいろ知る事ができ、有意義な時間でした。ありがとうございました。
- ・講師の方とスクリーンがかぶっているところがあって見えないところがあり、残念だった。
- ・行政が犯罪被害者に対する支援に目を向けたのはとても意外でした。犯罪というと警察が大きく関わりそうなので道庁の行ったことはすごいと思いました。
- ・少しずつ被害者支援を行うという動きがみられていることは良いとおもいますが、市町村では、地域ごとに力の入れ方がバラバラなので、もっと全体で力を入れた方が、連携もとりやすくなるであろうから、良いと思う。結局、状況を変えられるのは行政とか上の人間だとわかってはいるが、私たちもこの現状は、知っておく必要があると思う。そうすれば地域として、被害者を支える環境が整うとともに、犯罪も減らせると思う。話とはちがうが、レジュメのパワーポイントにしてほしかった。なんか「土曜勉強してんの？」とか言ってますけど、この時期は中間試験や中レポートがたくさん出ているので軽く言うなと思いました。
- ・被害者の現状や被害者に対する支援があることを知れて、とてもためになった講演会でした。
- ・犯罪被害者の方々が抱えている傷は、予想以上に大きくて、ショックだった。この講演会を聞いてよかったと思う。
- ・とてもタメになりました。今日は本当にありがとうございました。
- ・犯罪被害者は本人、家族以外にも友人、恋人、ひそかにしていた人など潜在的な人達も多数いると思う。しかし潜在的とはいっても彼らが受けた苦痛は非常に大きく彼らの支援も必要だと思うが、範囲が広すぎて、難しいのではないかと感じた。
- ・地域の活動による実績や個人的に防犯について行くと有効であることなどのことも知りたかった。
- ・被害者の心の傷は1年や3年くらいでは治らないと言われていましたが、その事はよく考えればあたりまえなのですが、言われて見てはっとしました。被害者の心理等が多少でもわかり、有意義な講演だったと思います。
- ・本村さんがテレビに出ているのを見るたびに、自分自身もつらい気分にならなくなっていました。自分に何が起こるかなんてわからないけど、自分が支援されるような日は、出来ればこないように願っています。
- ・本村さんですが、被害者の権利として死刑にしてほしいというのはわかりにくい。妻子の尊厳として、それを害した者を死刑にしたいというのは大いに納得できるのですが。
- ・被害者の心の傷についてしっかり考えていこうと思いました。

回答

・この講演は聞いている人間の中に犯罪被害者がいるという事を想定して作ったわけではなさそうである。講演者が前置きとして、「私も被害者の気持ちがよく分かっているわけではない」と言っておきながら、講演内で被害者の心情を我が者顔で語るのはどういう事？ そう思っていない被害者もいるのに、断定するような語りをするのはやめてほしい。それは単なる押し付けである。周りの友人たちや家族のおかげで、立ち直ろうとしている人間に対して何も知らない他人に同情されることがどれだけ苦痛なことか。そういう視点では考えられないものか。被害者だって色々な人間がいるわけで「被害者」という生物などではないのである。

・これからも自分が被害者になると思っておらず、外部から見ている一部の人かもしれませんが、今日の出来事が必ず、今後役にたつと信じています。

・条文を学ぶことも大事ですが、このように実例を含めたわかりやすい講演であったためよかったです。

・被害者の方が自分が考えていた以上に苦しんでいるということがよく分かりました。こうした、被害者の方々を支えていくためには、現状の対応では不十分であり、更なる整備が必要であると思いました。講演会に参加できて本当によかったです。また、警察の方が被害者の支援にあたっていることも今日知りました。ありがとうございました。

・やる気のない大学生に聞かせるよりは市や町の講堂で自発的に参加してくれる人達にむけて開催すべき。

・今日は講演会を開いていただきありがとうございました。